

今日の一句 ○

澄む月や

ひげをたたく

きりきりす

季語 月(秋)

其角(1661~1707)

其角は芭蕉の弟子。

江戸時代ゴロキヤのことと
キリキリスと言いたよう。

月の光は明るくゴロキヤ
かヒゲを庫かき今にも
鳴き出そう。その様子を

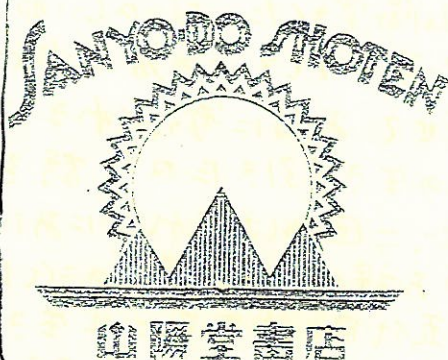
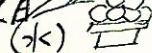
其角はじとみていたのたけうか。

山陽堂だより 13

2010年9月(長月)

今年の中秋の名月は

9月22日



古くから日本には
秋の澄んだ空に
昇る満月を鑑賞する
風習があり、この
時の月を
「中秋の名月」と
呼ぶようになりました。

『敬老の日』

小さな村から
全国へ

9月20日(月)は

はじまりは、兵庫県多可郡野間谷村。戦後まもなく、
村長さんが「老人を大切に、年寄りの知恵を借りて
村づくりをしよう」と農閑期の9月15日を「としよりの日」と
定め、その後全国に広まりました。

※2003年以降9月の第3月曜日に。

村長さん
スゴイ!



あめの KYON² キョンキョンニと



charming

小泉 今日子さんご来店

9月11日 気持ちよく晴れた土曜日でした。からし色と
ふかい緑の格子のジャケットをキョトウに着こなしたキョンキョンが
笑顔で山陽堂に！「Switch」に人気連載中の『原宿百景』の
撮影のためです。「またゆくりみにきます」ほいできたときと
同じ笑顔とひとこととるの：して次の撮影現場へと向かいました。

『原宿百景』発売中 1680円 スイッチパブリッシング

KYON²と原宿を歩き、街の思い出にふれ、さまざまな人々に
出逢いながら、彼女の少女時代の記憶を辿る

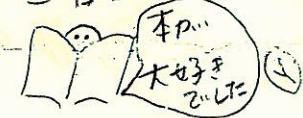
100さいのおたん生日おめでとーございます。

かつらおほあちゃん は 82年前の18さいの時から
何十年という長きに三渡り山陽堂のお得意さまで
した。お引越しされたあと 青山通り表参道の交差点
を曲がるたびに「山陽堂さんた、なつかしいね」と
言ってくれていたそうです。そしてこの春お嫁さんか
おほあちゃんを車に乗せて お店に寄ってくれました。
「おほあちゃん、青山の生き字引きたぬら 話をききにきてね」と。
はじめは 私ひとり、二回目は五代目にあたる甥や娘もいらして
100歳のお誕生日のお祝いに。山陽堂の三代目はせつちであの世へ
いくのも早く(58才)、五代目の孫たちには生きておほあちゃんの
記憶がありません。けれどもかつらおほあちゃんにはほほきりと
三代目の記憶かのこっています。そんな三代目おほあちゃんの話を
100さいになるお客さまに教えていたたく。時を越えたふしあ
る感覚。60年以上前の様子が目に浮かぶようでした。



もうすぐ 94さい 良どんに会いにいきました。

「そう、これが主人公なの。」山陽堂初代の写真を見た良どん
(通称)は、ほほきりといいました。良どんは大正5年(1916年)生れ、
長野から上京して、16才から12年間山陽堂で働かしてくれました。
昨年末倒れて、たて今療養中。12年間山陽堂で生活を共に
した祖母(87才)と伯父(83才)と三人で会いにいきました。



「あの頃はよくはたらいたね、自転車で走りまわって、
お得意さまわりかあね。」「可…もんで可よ、大きな
屋敷で」「太郎さんと競争するんだ、この本が売れようた
と思うと売りこみに行くんだ。本をむてまわるんで可ね、
けこう売りこんだ。」ひとつひとつことは言乙憶の箱
から取り出すようにゆっくりゆっくり話してくれました。
昔これと羽あつ働かしてくれた山陽堂の印半ごんに再び
袖を通してもらいました。実際にこの半ごんに着て山陽堂
で働いた人はもう良どんしかいません。山陽堂を及べ
した大切なおひとりです。



山陽堂連絡先
〒107-0061
港区北青山3-5-22
TEL03-3401-1309
FAX03-3401-1358
e-mail sanvodo@bi.wakwak.com
営業時間
月~金 10時30分~19時30分
土10時30分~16時
休み 日・祝日